

第 21 回京都府産業廃棄物減量・推進ネットワーク協議会

議事要旨

- 1 日時 平成29年10月13日（金） 午前10時～11時30分
- 2 場所 京都工業会館 2階 第1会議室
- 3 概要
一般社団法人京都府産業廃棄物3R支援センター平成29年度事業中間報告（議題1）及び産業廃棄物税の使途の構想（議題2）について説明し、各委員から意見を聴取した。
- 4 内容
 - (1) 開会
 - ・尾形環境技術専門監より挨拶
 - (2) 議事
 - ・議題1「一般社団法人京都府産業廃棄物3R支援センター平成29年度事業中間報告について」に基づき、一般社団法人京都府産業廃棄物3R支援センターが行う事業の今年度の成果を説明
 - ・議題2「産業廃棄物税使途事業の検討」に基づき、産業廃棄物税を活用した新たな施策内容を説明
- 5 委員から頂いた主な意見
 - ・京都府の最終処分量の削減が頭打ちになっていることについて、さらに解析された方が良いと考える。例えば国の施策（各種リサイクル法の施行等）の効果等も含めて検討されたい。
 - ・3Rカウンセラーの育成プログラムは現時点で簡易的であるため、次のパートナー認証を3Rカウンセラーと排出事業者の取組に絞ることに疑問がある。初めは、3Rカウンセラーのみを対象にするのではなく、他のコンサル企業の従業員等も対象にしていても良いのではないか。
 - ・最近、減量・リサイクルに頭打ち感がある。企業でも一生懸命やっているが以前より進まないという状況であると聞く。最近サーキュラーエコノミーという言葉をよく聞くようになった。要するに「やれば儲かる」という仕組み作る取組をされると、それがブレイクスルーになり、また京都府の最終処分量が減っていくのではないかと考えるのでご検討いただきたい。